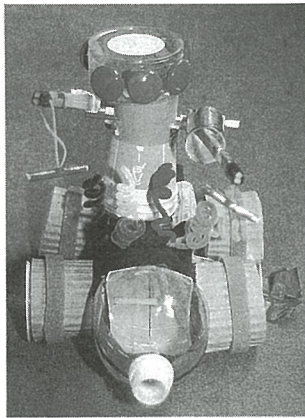




3年 よしひと
平山祥史君

※下の車がよく
走らなかった
ので、とても
くろうした。
金賞でうれし
かった。



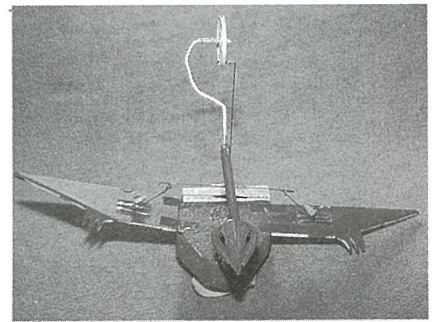
工夫工作
『ロボット2WD』

あつまれ みんなの 力作



1年
堀越陽介君

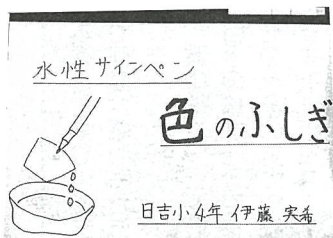
※きょうりゅう
のはねをつこ
くように、は
り金をくむの
が、むずかし
かったです。



工夫工作
『空とぶきょうりゅう』



4年
伊藤実希さん

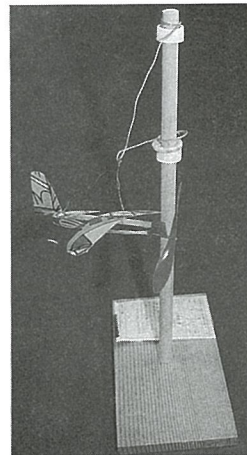


研究記録
『水性サインペン・色のふしぎ』

※水性サインペ
ンの水でにじ
む色が不思議
で調べていま
した。楽しい
実験でした。

夏休み中に製作した工作や自由
研究を発表した「八匠小・中学校
科学工夫展・統計図表展」で、入
賞した作品です。

日吉小



工夫工作
『プンプン号』



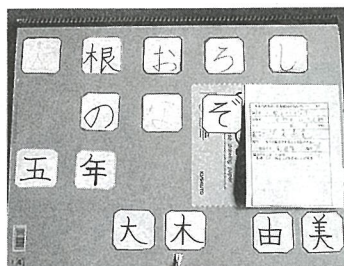
2年
久保田 潤君

※ぼくはプンプ
ン号を作りま
した。はりが
ねをつけて回
るようにくふ
うしました。



5年
大木由美さん

※作文用紙に書
いてスケッチ
ブックにはつ
たり、実験し
たので時間が
かかりました。

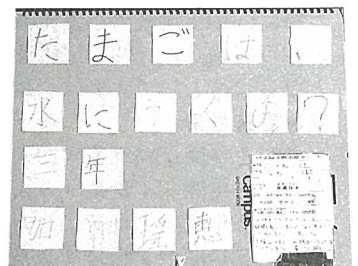


研究記録
『大根おろしのなぞ』



3年 たまえ
加瀬瑠恵さん

※実験のけつ
を写真でとつ
て見やすくし
ました。金賞
でうれしかっ
たです。



研究記録
『たまごは水に浮くのか?』

ひかり俳壇



新涼や波乱の世を生き喜寿迎う
大谷 武彦(木戸)

激動の昭和を耐え生きて喜寿を迎
えた。散華された人々への鎮魂の
情も去来する。

帰京する子の荷に詰めし今年米
布施 和代(二又)

一目瞭然、親心の心情が過不足な
く伺える。難しい言葉は却って詩
情が逃げてしまう。

新盆の遺影を前に懐古談
鴨川 篤(尾垂)

原句には何か平面的で切り込みが
浅い感じを受けたので添削を少し
した。

妻呼びて佇む庭や秋涼し
秋山 一泉(栢田)

新涼や「お早よう」と背に子らの声
大木 素風(二又)

新涼や予約日決り歯科医出づ
土屋 義昭(虫生)

新涼や種苗店に来て惑う
川島 通則(二又)

短評
椎名しげる

評者吟
何はとも髪膚を浄め魂送る